

〔平成27年度 伊勢市水道事業会計決算の概要〕

本年度の水道事業は、給水の安定及び有収率の向上を図り、効率的な維持管理を行うため、老朽配水本管の更新や増口径管への布設替工事のほか、配水本管の未整備地区への新規布設工事、下水道工事などに伴う配水本管布設替工事等を実施し、管路等の耐震化を行いました。

1. 経営成績 (単位：千円)

収益的収入	2,713,021
収益的支出	2,224,138
当年度純利益	488,883
前年度繰越利益剰余金	0
その他未処分利益剰余金変動額	430,239
当年度未処分利益剰余金	919,122

※ 議会の議決により、当年度未処分利益剰余金のうち、その他未処分利益剰余金変動額分は資本金に組み入れ、当年度純利益分は資本的支出の財源として減債積立金に24,000千円、建設改良積立金に464,883千円を積立しました。

2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	25,637,855	負 債	11,524,703
固定資産	22,274,410	固定負債	5,548,004
流動資産	3,363,445	流動負債	739,149
		繰延収益	5,237,550
		資 本	14,113,152
		資 本 金	13,170,901
		剰 余 金	942,251
		資本剰余金	23,129
		利益剰余金	919,122
合 計	25,637,855	合 計	25,637,855

3. 業務量の概要

項 目		平成 27 年度	平成 26 年度	比 較	
				増・(△)減	比 率
上水道	給水戸数 戸	56,033	55,670	363	100.7%
	給水人口 人	127,669	129,448	△1,779	98.6%
	配水量 A m ³ /年	16,435,786	16,961,391	△525,605	96.9%
	有収水量 B m ³ /年	14,803,516	14,988,703	△185,187	98.8%
	有収率 B/A %	90.1	88.4	1.7	—
簡易水道	給水戸数 戸	56	58	△2	96.6%
	給水人口 人	92	92	0	100.0%
	配水量 C m ³ /年	12,040	10,141	1,899	118.7%
	有収水量 D m ³ /年	7,281	7,100	181	102.5%
	有収率 D/C %	60.5	70.0	△9.5	—
計	給水戸数 戸	56,089	55,728	361	100.6%
	給水人口 人	127,761	129,540	△1,779	98.6%
	配水量 E m ³ /年	16,447,826	16,971,532	△523,706	96.9%
	有収水量 F m ³ /年	14,810,797	14,995,803	△185,006	98.8%
	有収率 F/E %	90.0	88.4	1.6	—

4. 水道事業基本計画目標値の結果

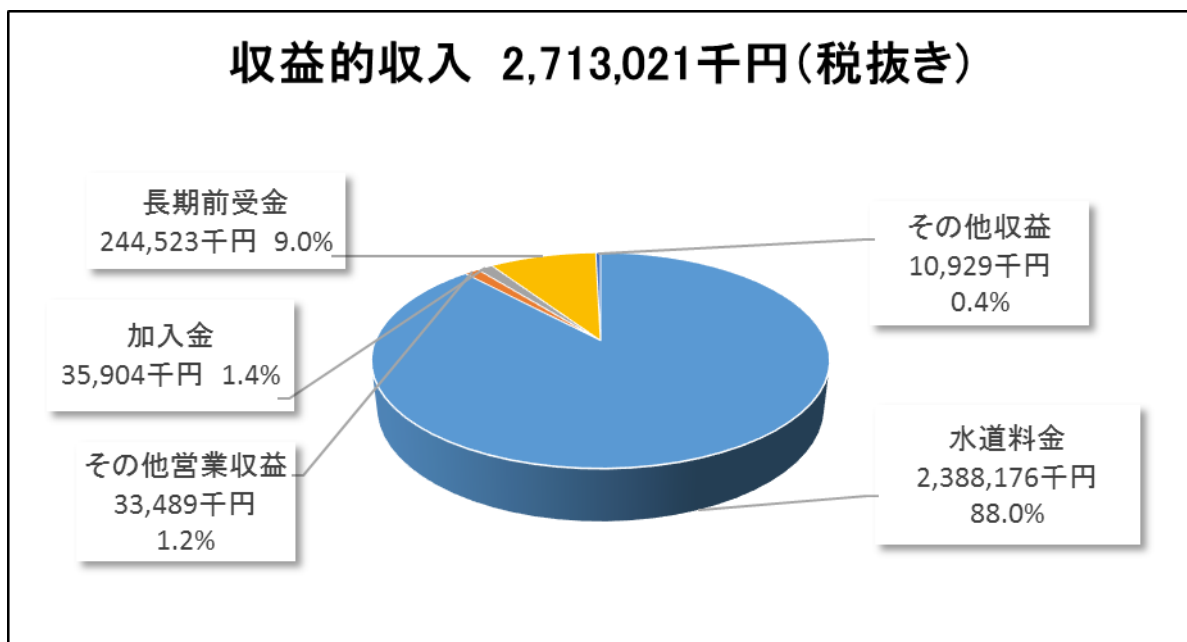
指 標 名	H27 実績	H26 実績	比 較		H30 目標	望ましい 方向
			増・(△)減	比 率		
水質検査箇所密度 箇所/100k m ²	9.2	9.8	△0.6	93.9%	12.0	↑
塩素臭から見たおいしい水達成率 %	87.5	100	0	—	持続	↑
配水池耐震施設率 %	80.9	80.9	0	—	87.0	↑
管路の耐震化率 %	13.8	13.4	0.4	—	16.5	↑
管路の更新率 %	1.16	1.34	△0.18	—	2.00	↑
車載用の給水タンク保有度 m ³ /1000人	0.127	0.125	0.002	101.6%	0.098	↑
有収率 %	90.0	88.4	1.6	—	88.5	↑
配水量 1 m ³ 当たり電力消費量 kwh/m ³	0.33	0.33	0	100.0%	0.27	↓

[水道事業の収支]

1. 収益的収支

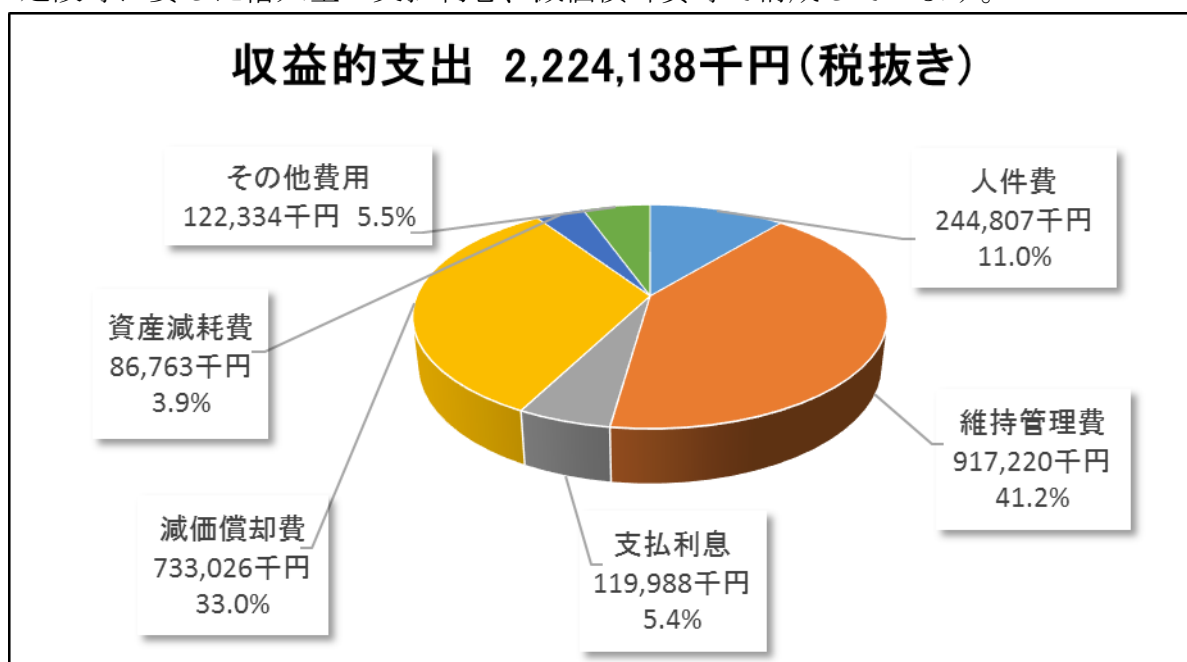
① 収益的収入

原水の取水や配水に係る施設の維持管理費等水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく水道料金、加入金、長期前受金などで構成しています。



② 収益的支出

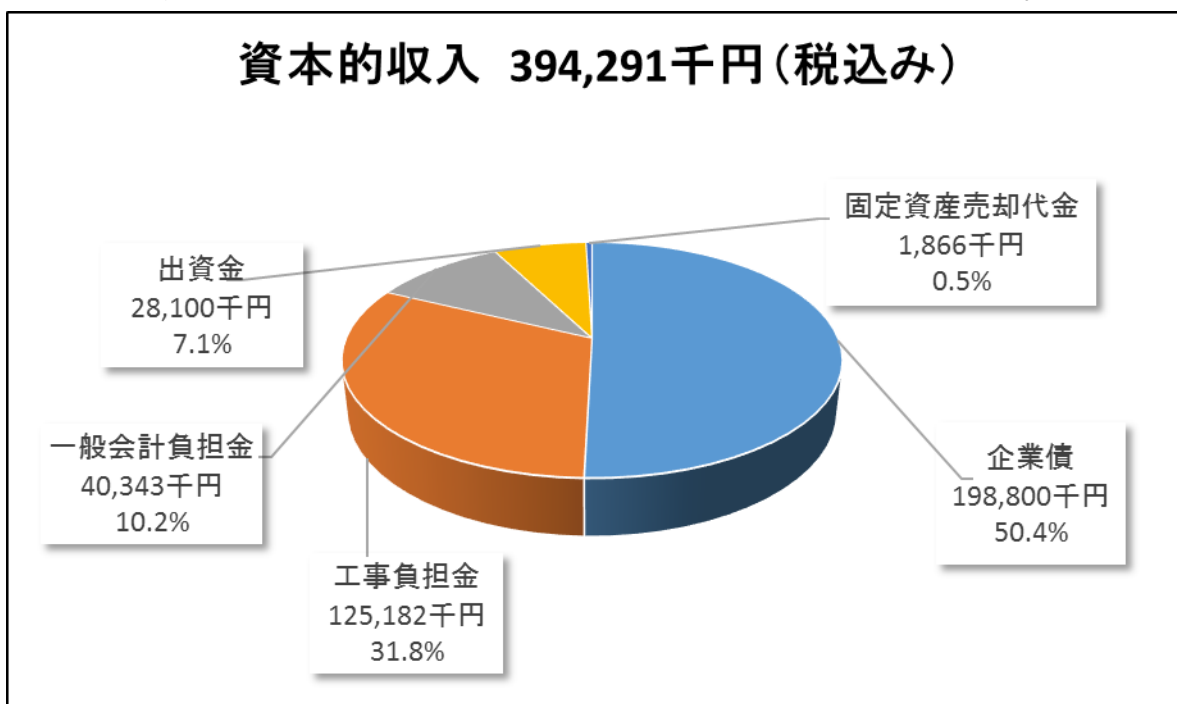
水道料金、加入金等（収益的収入）を財源として、水道事業を経営していくために必要な維持的経費。原水の取水や配水に係る施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



2. 資本的収支

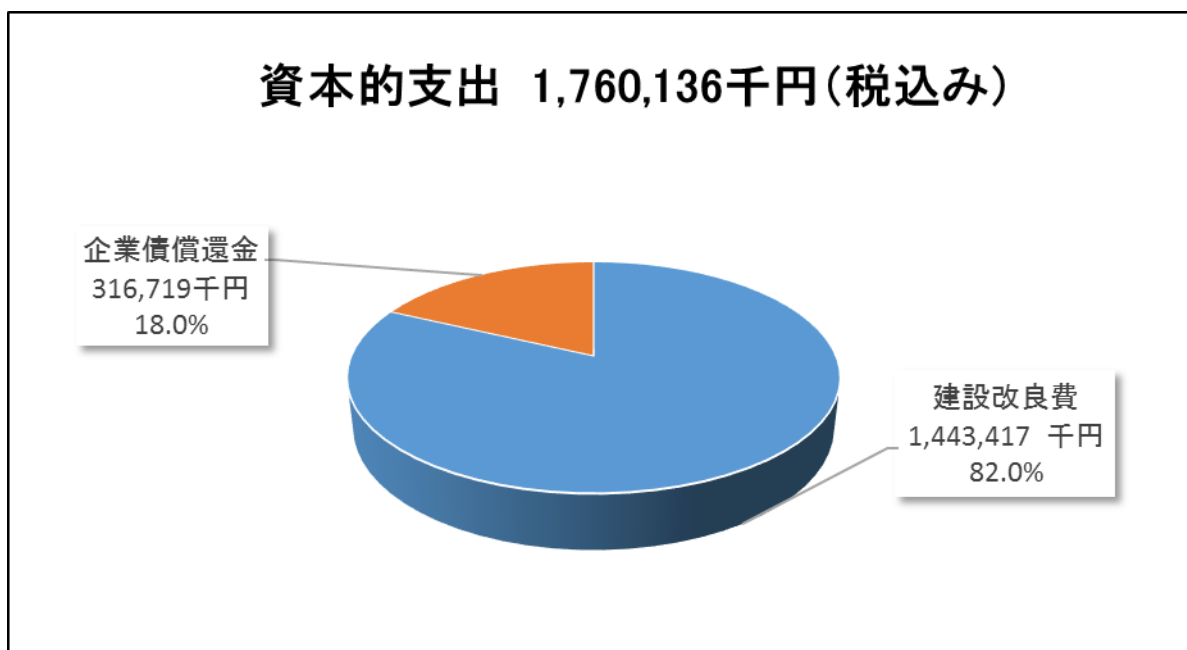
① 資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金(資本的支出)の財源。企業債、工事負担金、一般会計負担金及び出資金(一般会計)等で構成しています。



② 資本的支出

企業債や工事負担金等(資本的収入)を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還等にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金(借入金の返済)で構成しています。



※資本的収入額が資本的支出額に不足する額 1,365,845 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 88,809 千円、繰越工事資金 453 千円、減債積立金 21,000 千円、建設改良積立金 409,240 千円、過年度分損益勘定留保資金 846,343 千円で補填しました。